

雑草イネにご注意ください！

近年、県内各地で雑草イネの発生が確認されています。

雑草イネがまん延すると収穫物に混ざり、等級を下げる原因になります。また、一度増えてしまった雑草イネをなくすには、徹底的な防除を3～4年続けなければなりません。

早期発見と速やかな防除により、雑草イネによる被害を防ぎましょう。

雑草イネの特徴

- ・ 籾が落ちやすい（風が吹いたり、手で握ったりするだけで多くの籾が落ちる）
- ・ 出穂期や草丈が栽培品種と異なる（栽培品種と同じタイプもあります）
- ・ 芒や籾、玄米が着色している（着色していないタイプもあります）



↑草丈が高い、籾が落ちやすい



↑赤紫色などの芒がある



↑籾や玄米の形や色が異なる

写真は中央農業総合研究センター作成「雑草イネまん延防止マニュアルVer.2」より引用

雑草イネを発見したら、すぐに株ごと抜き取り、処分してください。農業機械を介して拡散するため、発生は場の機械作業は最後に行うようにしましょう。

さらに、①遅植え②有効薬剤による体系防除③手取り除草などの対策が必要です。

【お問い合わせ先】

つくば地域農業改良普及センター ☎029-836-1109

認定農業者になりましょう

認定農業者とは、農業改善に取り組むやる気のある農業者が『農業経営改善計画』を作成し、その計画を市町村が認定する制度です。

また、新たに農業を始めたい方の相談も随時受け付けています。

【お問い合わせ先】

取手市役所 農政課

☎74-2141 (代) 内線2111



カメムシの発生防除対策

薬剤防除

幼虫の防除適期は、出穂10日～15日後頃防除します。

成虫は穂揃期が適期であるが、収穫前日数等に十分注意する。

また、周辺作物（特に早生品種）に飛散しないよう十分注意する。

編集後記

能登半島地震から約半年が経ちましたが、震災の傷跡がまだ残っています。被災者の平穏な日常が、一日も早く戻ることを願い、農業委員・推進委員一同で、義援金を贈らせていただきました。

現在の日本農業は、農業者の高齢化と後継者不足により、遊休農地の増加など様々な問題を抱えております。取手市では「人・農地プラン」に基づき、「地域計画」を進めています。農地を集約して作業性の向上・省力化を目指し、集約にすることにより、多くの面積を少ない担い手で作ることを目指しています。

私自身、農業にはまだまだ可能性があり、魅力ある職業だと思っています。魅力ある農業を伝え、農地を守っていきたく、皆様のご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会報委員 根本 幹夫